

平成 26 年第 1 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
3 月 4 日 (火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	湊 瀬 栄 子 議員	2
	3	3	中 野 良 雄 議員	4
	4	4	渡 辺 督 郎 議員	5
	5	5	小 嶋 俊 樹 議員	6
3 月 5 日 (水)	6	1	中 尾 清 敏 議員	6
	7	2	朝 長 隆 洋 議員	7
	8	3	宮 本 一 昭 議員	9
	9	4	平 野 直 幸 議員	10
	10	5	浅 田 直 幸 議員	11
3 月 6 日 (木)	11	1	杉 澤 泰 彦 議員	12
	12	2	戸 浦 善 彦 議員	13

西 海 市 議 会

1. 岩 本 利 雄 議員

質問事項 1

イノシシ対策について

質問の要旨

- (1) 昨年 12 月末現在の捕獲頭数は、1,417 頭との報告がなされているが、平成 25 年度の捕獲頭数見通しは。
- (2) 平成 25 年度の捕獲目標頭数は、当初 2,500 頭を予定していたが、平成 25 年第 1 回定例会一般質問の答弁で 3,200 頭に上方修正されている。目標達成は可能か。
- (3) 西海市周辺のイノシシ生息頭数は、豊富な食料を背景に繁殖頭数が増加し、現状の捕獲頭数では毎年増加傾向にあることが予想される。平成 26 年度の捕獲目標頭数は。
- (4) 佐世保市の捕獲頭数は 6,000 頭だと聞いている。近隣の平成 24 年度の佐世保市、長崎市、時津町、長与町の捕獲頭数は。
- (5) 平成 23 年度より「イノシシ撃退事業」が実施されている。これまでの実績と今後の計画は。
- (6) イノシシの庭先への侵入や夜道での遭遇等、生活環境被害や交通事故・人身事故の発生増が懸念され、安全安心な暮らしが脅かされつつある。農作物被害防止対策以外に、これらの具体的な対策は。

質問事項 2

南串橋補修工事について

質問の要旨

- (1) 平成 24 年 11 月 8 日 10 時に急遽全面通行止めとなり、応急的な補強工事を行い平成 25 年 3 月 21 日に、人のみ通行可能となった。現在、周辺建物の事前調査中である。長期間を要しているのに、何故本格的な改修工事に着手されないのか。工事が遅れている理由は。
- (2) 先の補正予算審査の中で、補修工事はいつ頃完了するのかの質疑に対し、完了予定日の答弁を得ていない。既に改修工事に関する工程表は出来ているものと思われる。いつ頃車両が通行できるようになるのか。
- (3) 補修工事施工の中で、鋼矢板の岩盤への打込みがあり、周辺建物が振動で沈下やクラック発生などの影響が出る可能性が高いということで、現在周辺建物の事前調査を実施している。工事完了後に影響の有無を確認するために、事前調査と同様な調査を実施すべきと考えるが、どうか。

2. 瀨 榮 子 議員

質問事項 1

市立病院を移譲した「さいかいクリニック」の地域医療について

質問の要旨

市民から地域医療を支える要として期待され、市内で唯一の人工透析治療を実施し、低額無料診療も行える診療所としての役割を十分に発揮してもらうための市としての対応は。

- (1)協定において、西海市長は「福医会」に対して必要に応じて、国や県に対して行う報告に準じた内容で報告を求めることができるかとあるが、どのような報告を受けているか。
- (2)人工透析治療は予定時期より遅れたが実施されている。しかし、一次救急医療を 24 時間体制で対応するとされていたが、医師不足を理由に実施されていないが今後どのような見通しとなっているか。
- (3)当時の市立病院を、旧大島町民の 3 分の 1 しか利用していない現状を改善するとして民間移譲されたが、実際に改善されているか。
- (4)介護分野も含めてだと思うが、選考委員会に提出された収支計画では、平成 24 年度に経常として黒字、2 年目からは 1,000 万円程度の黒字とされていたが、どのような報告を受けているか。
- (5)用地取得に市から 1 億 5,700 万円、市からの支援として補助金 2 億 5,700 万円、貸付金 4 億 5,000 万円（上限）などがされており、現状をきちんと把握して対応すべきではないか。

質問事項 2

小学校の統廃合について

質問の要旨

複式学級の解消を目標として、西海町・大島町・崎戸町・西彼町の小学校の統廃合が計画されているが、地域説明会の中でも、「歩いて通える小学校」「小規模校の良さ」「学校は地域の財産である」など小学校の存続を求める声が多数出された。

- (1)文部科学省の通達として有効と確認した文部省（当時）の 1973 年通達にある、小規模校として存置し充実する方が好ましい場合もあること、学校の持つ地域的意義等も考えて十分に地域住民の理解と協力を得て行うよう努めることなどを尊重されるのであれば、統合しないという選択肢もあるのではないか。

- (2)学校適正配置基本計画（答申）が説明されているが、児童・保護者・地域から存続の声が強かった場合は、それを素案に反映して計画を変更するのか。
- (3)児童・保護者・地域声を尊重して、統合を選択しなかった雪浦小学校について、今後も理解を得て統合するという方針を持ったままでは、通達に沿った方針とは言えないのではないか。
- (4)複式学級の解消を統合ではなく、複式学級支援事業として市独自で取り組んでいる自治体がある。複式学級になる基準を下げ、教員を配置して単式学級とする選択肢もあるのではないか。

質問事項 3

住宅性能向上リフォーム支援事業について

質問の要旨

- (1)平成 25 年度の予算額・申請数・総工事費・補助対象経費・補助金交付決定額は。
- (2)この支援事業による住宅改修の誘発効果や経済効果は。
- (3)来年度以降も継続し、対象を店舗にも広げ予算の増額を。

質問事項 4

急傾斜地崩壊対策について

質問の要旨

本市には、山地が海岸線に迫り平地に乏しいという地形的特徴から急傾斜地崩壊や崖崩れなど危険とされる箇所が多いが、近年は台風のみならず集中的な豪雨の発生もあり、市民の土砂災害への不安が高まっている。

- (1)急傾斜地崩壊危険箇所や崖崩れ危険箇所の状況として危険箇所数・整備数・整備率はどうなっているか。
- (2)平成 25 年 8 月の時点での急傾斜地崩壊対策要望箇所は 9 箇所とされており、大瀬戸町瀬戸檜浦郷清水の一部の地区については、平成 25 年度一般会計 9 月補正予算で対策事業が計上されたが、大瀬戸町瀬戸福島郷西浜の一部の地区・瀬戸福島郷向深浦地区・多以良内郷多以良地区・雪浦下釜郷中尾地区・大島町間瀬地区・西海町水浦郷北泊地区・丹納郷高地の一部の地区・西彼町亀浦郷亀浦地区についての 8 箇所についての対策はどうなっているか。
- (3)大瀬戸町瀬戸福島郷西浜の一部の地区については、対策工事が検討されながら未実施のままになっている。ここでは落石があっており早急な対策実施が求められているが、その対策はどうなっているか。

- (4)総合計画では、急傾斜地崩壊危険箇所の整備率を平成 22 年度 27.1%から平成 28 年度には 34.4%に引き上げるとされているが、この計画の中で実施が予定される箇所はどこか。
- (5)この他にも対策が要望されている箇所とその対策についての方針は。

3. 中 野 良 雄 議員

質問事項 1

雇用の場の確保と地元企業の支援について

質問の要旨

平成 26 年 1 月 31 日、大島造船所ベトナム進出中止と新聞報道がなされた。

また、大島造船所は今後、競争力強化に全力を傾注するとされている。そこで本市としても、これを雇用確保の好機と捉え、協力関係をさらに強め、働く場の確保に努めるべきと考える。

また、市内の中小事業所等の仕事量確保と雇用確保のため、造船関連企業との協力を強めるための取組みが必要と考えるが見解を伺う。

質問事項 2

財政計画の見直しと財政規模の見通しについて

質問の要旨

合併自治体の財政支援策である合併算定替制度が終了しようとしている。国は新たな財政支援策として支所 1 か所当たり平均 2 億 4,000 万円相当の地方交付税を加算する方針を決定したとの報道がなされている。そこで、財政計画の見直しはどのように考えているのか。

また、新たな支援策の導入に伴う本市の財政状況と今後の財政規模の見通しを伺う。

質問事項 3

環境美化と花いっぱい運動の推進について

質問の要旨

「長崎がんばらんば国体」が本年 10 月に開催される予定で、本市では新体操競技が行われることとなっている。全国各地から選手の皆さんを始め、大会役員や家族の皆さんなど、多くの人々が本市を訪れるものと思われる。

そこで、皆様を気持ちよく温かく迎えるため、「ながさきサンセットロード」(国道 202 号)を始めとした幹線道路の樹木伐採や草刈りなどの環境美化と花いっぱい運動の推進を図るべきと考えるが、見解を伺う。

4. 渡 辺 督 郎 議員

質問事項 1

原子力災害対策について

質問の要旨

- (1)長崎県原子力災害対策暫定計画（案）によると、玄海原発より、30 km圏内の自治体が関係市として、避難対象区域となっている。50 km～70 kmにある西海市は、対象区域となっていない。しかし、福島県では、福島第一原子力発電所から 50 kmにある飯館村が居住制限区域になっており、風向き等の気象条件などによっては西海市も同じような状況になることが十分予想される。原子力災害対策計画を策定する必要があると思うが、如何か。
- (2)長崎県内には放射能モニタリングポストが 13 か所設置されているが、西海市には設置されていない。玄海原発が再稼働となった場合、設置する必要があると思うが、如何か。
- (3)玄海原子力発電所の原子力事業者防災業務計画別冊の中で、別図 2-3 原子力災害対策指針に基づく警戒事象に関する連絡先に、西海市は、入っていない。どのようにして、緊急情報等を入手しようと考えているのか。

質問事項 2

空家対策について

質問の要旨

全国の自治体の中でいち早く平成 22 年 10 月 1 日に空家等の適正管理に関する条例を制定した所沢市では、空家、空地を管理する NPO 法人空家・空地管理センターが設立され、空家の管理、解体、リフォーム等の事業を行っている。管理しなければ地域の問題となる空家、空地が、地域の資源となり生かされる事業になっている。

また、国土交通省の空家再生等推進事業などの補助事業もあり、国も空家を資源として再生させる事業を推進している。空家を地域資源とする事業に取り組んでは如何か。

5. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

コンプライアンス（法令遵守）について

質問の要旨

行政のコンプライアンス違反は、納税の義務を負う住民の納税意識を低下させ、市民協働のまちづくりに支障をきたすと思われる。

昨年度指摘した建設業法違反行為を始め、市の事業推進において法令違反の行為が日常化しているのではないかと危惧している。

そこで、法令違反の疑義がある「西海町し尿焼却施設最終清掃業務委託」及び「西海市工業用水浄水場汚泥処理業務委託」に関し、以下の点について伺う。

- (1)この2つの事業は入札時提示された縦覧設計書どおり実施されたか。
- (2)委託された事業の再委託の疑いがあるが、違反行為はなかったか。
- (3)事業の経過が分かる管理日誌は記録されているか。
- (4)入札指名業者の選定においては、事業者の能力、資質を確認及び検討しているか。

質問事項 2

西海市エネルギー回収推進施設について

質問の要旨

- (1)施設工事の進捗状況は。
- (2)運営計画に問題点や課題は発生していないか。
- (3)地元住民への説明や広報は十分なされているか。

6. 中 尾 清 敏 議員

質問事項 1

西海市の活性化戦略について

質問の要旨

- (1)基本構想において、「健康の里さいかい」を実現するための基本目標として「地域資源を活かした住みたくなる里づくり」、「いつまでも働ける元気な産業が息づく里づくり」を掲げているが、それぞれの基本目標において、市長が平成26年度に向け最重要課題と位置付けている取組みは何か。
- (2)後期基本計画で、最重要課題として挙げられている「雇用環境の充実」、「定住化・移住促進」について以下のとおり伺う。

- ①現在までの定住希望者数は。また、定住希望者からの定住に関する要望内容は。
 - ②定住促進の取組みによる実際の定住者数は。
 - ③定住者への支援制度の現状は。
- (3)ふるさと応援寄付金の寄付額と使途内容、寄付された方への謝礼など対応状況は。
- (4)後期基本計画における「後期戦略プラン」の中で、「自然・食・歴史の里づくり（西海里山イニシアティブの推進）」及び「企業誘致の実現」については、どちらもPRが不十分であることを「弱み」としている。メディアを通じた広報などの考えは。
- また、名刺交換を通じたPR活動のため、職員、議員等の名刺に市内観光地や特産品などの写真を入れてはどうか。
- (5)職員提案の取組みは職員の意欲向上に資するものであり、評価している。提案を市政運営の中でどのように位置付け反映させているのか伺う。

7. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

西海市の農業政策の今後の進め方について

質問の要旨

- (1)現在の西海市の農業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあり、これまでの市長の考え方としては、今後の展開として6次産業化を視野に置いた復興を目指すとの考えであったと思うが、具体的に来年度予算においてどう反映させて方向性を示す考えか。
- (2)これについて、西海市においては農業振興公社の果たす役割も大きく、様々な機関と連携して発展につなげるという考えであったが、現在の農業振興公社の体制は、その課題に十分に対応できている状況か。
- (3)樹園地基盤整備事業として、事業計画を進めている西彼町小迎地区 10ha、西彼町白崎地区 14ha について、今後の市としての進め方と支援策は。

質問事項 2

主要交差点、大島大橋などの重要ポイントへの防犯カメラの設置について

質問の要旨

昨今、様々な凶悪な事件が頻発し、以前では考えられないような事件の内容が報道されている。都市部には様々な個所に防犯カメラが官民で設置されており、事件

の早期解決のカギとして、その映像が手掛かりとなっている事例が多いようである。西海市もこれから、自然・食・歴史文化をキーワードに掲げ、豊かな環境を体験していただく政策を進め、多くの方々に訪れていただくためにも、主要交差点、大島大橋など重要なポイントには防犯カメラを設置し、事前予防策を講じる必要があるのではないか。

特に、警察官駐在所が国道より目につきにくい位置に移転している状況からも必要と考えられるがどうか。

質問事項 3

子ども夢基金の運用過程（プロセス）の見直しについて

質問の要旨

市長が再選 2 期目となり、初年度（25 年度）の目玉である「子ども夢基金」の運用が残念ながら、年度途中のためだったという理由で、予算の組み替えのみによって消化され、成果を上げられなかった。出来なかったのであれば、次年度に繰り越してでも内容を充実させるべきではなかったか。

また、教育委員会のみで、特に社会教育の枠だけで運用することについて、実態として人員の配置を含めて対応可能な状況にあるのかと危惧される。そもそも、市民協働を掲げながら、実質的には予算、企画に至るまで行政が主導すること自体、市民の共感を得られないと考える。結果的に予算消化で終わってしまわないよう、今後は、市民との議論を通じた活動も必要と思われるが、どう考えるか。

質問事項 4

佐世保市やハウステンボスによる I R 誘致への本市としての今後の取組み等について

質問の要旨

佐世保市がハウステンボスとともに積極的に進めているカジノを含む統合型リゾート（I R）の誘致に関して、本市としては、今後どのように取組み、関与して行くのか伺う。

8. 宮 本 一 昭 議員

質問事項 1

農業政策について

質問の要旨

農業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加等、多くの問題が山積みされている。これらの課題を解決するために「人・農地プラン」事業が開始されているが、西海市のこの事業への取組みについて伺いたい。

(1)農地集積への考え方について

地域集落によって農業の形態が異なるが、それぞれの地域に適した選択を要すると思う。地域の人達との話し合いはなされているか。

(2)新規就農者への支援について

一部の経営体を除けば、新規就農者が非常に少ない。行政として就農者を増やせる画期的な方策の考えはないか。

(3)金融支援について

市の助成、補助関係について、「人・農地プラン」に該当するものを伺いたい。

(4)農業用機械導入等について

農地集積により大型農業になれば、当然機械化が必要になってくるが、団体購入、個人購入の場合でも事業の対象となるのか。

(5)基盤整備、共同利用施設整備について

基盤整備事業を進めていく上では、生産から販売までを基本と考える。従って、共同の集荷、選果場、さらに加工までの施設も必要になってくる。6次産業化が進められている今日、市の考えはどうか。

(6)農業振興公社による人・農地プランへの参入（支援）の考えはないか。

市の農業活性化を目指すならば、農業振興公社の存在をアピールし、全市的な活動を展開するべきだと思う。一部地域に偏っては意味がない。市の考え方を聞きたい。

9. 平 野 直 幸 議員

質問事項 1

自衛隊基地の誘致について

質問の要旨

我が国の防衛に関する計画はこのところ大きく見直され、特に九州西部方面における強化については注目すべきである。本市は、佐世保湾での位置付けにおいても重要な関係にあり、今後、自治体として、国防の観点から、担う役割と課題も検討していいのではないか。自衛隊基地の誘致についてどのように考えるか所信を伺う。

質問事項 2

西海市総合計画の数値目標と施策化について

質問の要旨

西海市発展の基礎となる西海市総合計画は、策定時には議会の承認を経て本市の政策推進の基本となっている。この間、既に前期の5年間は経過し、現在は、平成24年度から平成28年度の後期基本計画の中間点にある。これを踏まえると平成26年度以降の地域発展の施策と予算化は、後期計画に沿うものと認識する。

そこで、後期計画の数値目標と施策化について次のことを伺う。

(1)後期基本計画のうち特に以下4点の進捗度と到達に向けた方策について

- ①道路
- ②情報化
- ③農林業基盤の整備
- ④学力の向上

(2)防衛周辺における地域整備計画作成の見通しは

質問事項 3

儲かる農業づくりについて

質問の要旨

西海市の農業政策は、土壌の有利性など地域特色を踏まえた適地適作づくり、農業の担い手の確保を目標とする計画、安定的に売れて儲かる農業となる仕組みづくりが喫緊の課題となっている。次のことを伺う。

- (1)新たな地域農業振興計画書はいつできるか。
- (2)アグリプレナー(起農家)の見込みはあるか。
- (3)農家と農業法人を設立し、グループ内店舗で野菜を販売している「ローソン農業」

に学ぶものはないか。

(4)農地小規模基盤整備制度の拡充策の検討はどうか。

10. 浅田直幸議員

質問事項 1

江島・平島における火葬料金の取扱いについて

質問の要旨

平成 23 年度から平成 25 年度までに確認された江島・平島の死亡は 26 件で、島内での死亡はほぼ確認されておらず、島外での死亡が 100 パーセントの状況である。

佐世保市内の病院で死亡された島民の方は佐世保市内で火葬し、火葬料金(12 歳以上)は 5 万 7,000 円を支払っているのが現状であり、西海斎場までの搬送等にも経済的負担もかかることから、両島の人たちは、西海市民でありながら格差を感じている。

そこで、今後は高齢化率の高さや所得水準の低い実情に合わせた負担軽減ができないものか伺いたい。

質問事項 2

崎戸町内の施設の今後の方向性について

質問の要旨

新年度を迎えるにあたり、懸案の崎戸町内にある下記の施設の今後の方向性について伺いたい。

- (1)ウォーターデッキステーション
- (2)海浜公園
- (3)とんぼ公園
- (4)温水プール
- (5)歴史民俗資料館
- (6)中学校跡

質問事項 3

道交法改正に伴う安全対策について

質問の要旨

平成 25 年 12 月 1 日より道交法が改正になり自転車の罰則が強化されたが、市内

の小中高及び自転車通勤の方が多企業に対し、警察、交通安全協会とも協議をされ、改めて安全走行の徹底を指導していただきたい。特に大島町の朝夕の自転車通勤ラッシュ時は、いつ事故が発生してもおかしくない状況にあり、住民の方々からも不安の声が上がっている。市としてもなんらかの対策を早急に講じるべきだと考えるが、市長の考えを伺いたい。

11. 杉 澤 泰 彦 議員

質問事項 1

大崎地区振興策について

質問の要旨

現在、大島造船所の好調が続いている。朝夕の通勤時はその賑わいが最高潮になる。これからもこの状況は続くと思われるが、現在、地元においてはその活況の影響が十分に反映されていない。かえって疲弊感が募っている感さえある。今こそ、この地域の振興策を図ることが西海市の将来を占うことにつながるものと思われる。

当該地区における政策について次のことを聞きたい。

- (1)この地域への定住を促進するためには、教育（学校教育、社会教育、スポーツ振興）環境を更に充実する必要があると思うがどうか。
- (2)住宅（定住政策）環境についても、若者の定住を促すような政策が必要と考えるがどうか。
- (3)交流人口増加のための観光振興に向けた具体策について伺う。
- (4)購買力が流出し疲弊している地元商店街の振興策について、若者向けの業態の新規参入などを促す必要もあると思うがどうか。
- (5)区域が他の地区に比べてコンパクトで、企業、施設等の立地その他の諸条件が整う当該地区の総合的振興策について、基本的な考え方を伺う。

質問事項 2

学童保育条例制定について

質問の要旨

2012 年子ども子育て支援法の成立で 2014 年に各市町で条例制定が予定されている。西海市の現在の状況、新制度の中で西海市の学童保育の位置づけをどのように考えているのか聞きたい。

12. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

人口減対策について

質問の要旨

- (1)西海市の将来人口推計は。
- (2)合併時（10 年前）に現在の西海市の姿をどのように描いていたのか伺う。
- (3)これに対して、現在（合併 10 年目）の実績をどのように評価するのか伺う。
- (4)これから 10 年後の産業別の将来像をどのように描いているか伺う。

質問事項 2

西海市民の安全安心対策について

質問の要旨

- (1)市内には、街灯設置の必要な箇所が未だ多く残っており、地域の要望も多いが、今後の対応策を伺う。
- (2)児童の通学路となっている市内道路の歩道には、路面の損傷具合や車両通行量に応じた安全対策が必要な箇所も多いと感じるが、今後の対応策を伺う。
- (3)路線バスの乗継拠点ともなっている大串バス停には、トイレの新設その他の環境整備が必要と思うが如何か。

質問事項 3

中高一貫である県立大崎高校の振興策について

質問の要旨

- (1)今年の志願状況について
- (2)漁業後継者育成のための水産科の設置が必要と思うがどうか。